

山内伊賀亮

坂東彌十郎

東京・半蔵門



國立劇場

大劇場

# 名高大岡越前裁

名奉行、最大の危機！  
天下を揺るがす難事件に、  
大岡越前が命を賭けて  
敢然と立ち向かう。

大岡越前守忠相  
中村梅玉



中村魁春



坂東東樂善

11月3日[土・祝]～26日[月]午前11時

開演

10月6日[土]午前10時～

予約開始

10月7日[日]チケット先場午前10時～午後6時

※窓口販売開始

10月7日[日]

チケット先場午前10時～午後6時

電話

国立劇場チケットセンター

（午前10時～午後6時）

0570(07)9900

（一部IP電話不可）

03(3230)3000

窓口販売開始

10月7日[日]

チケット先場

午前10時～午後6時

※窓口販売専用に別枠でのお取り置きはございません

電話

国立劇場チケットセンター

（午前10時～午後6時）

0570(07)9900

（一部IP電話不可）

03(3230)3000

市川右團次

beyond  
2020

1明治

1868

年

1月

大正

1912

年

1月

昭和

1926

年

1月

平成

1989

年

1月

令和

2019

年

1月

2020

年

1月

2021

年

1月

2022

年

1月

2023

年

1月

2024

年

1月

2025

年

1月

2026

年

1月

2027

年

1月

2028

年

1月

2029

年

1月

2030

年

1月

2031

年

1月

2032

年

1月

2033

年

1月

2034

年

1月

2035

年

1月

2036

年

1月

2037

年

1月

2038

年

1月

2039

年

1月

2040

年

1月

2041

年

1月

2042

年

1月

2043

年

1月

2044

年

1月

2045

年

1月

2046

年

1月

2047

年

1月

2048

年

1月

2049

年

1月

2050

年

1月

2051

年

1月

2052

年

1月

2053

年

1月

2054

年

1月

2055

年

1月

2056

年

1月

2057

年

1月

2058

年

1月

2059

年

1月

2060

年

1月

2061

年

1月

2062

年

1月

2063

年

1月

2064

年

1月

2065

年

1月

2066

年

1月

2067

年

1月

2068

年

1月

2069

年

1月

2070

年

1月

2071

年

1月

2072

年

1月

2073

年

1月

2074

年

1月

2075

年

1月

2076

年

1月

2077

年

1月

2078

年

1月

2079

年

1月

2080

年

1月

2081

年

1月

2082

年

1月

2083

年

1月

2084

年

1月

2085

年

1月

2086

年

1月

2087

年

1月

2088

年

1月

2089

年

1月

2090

年

1月

2091

年

1月

2092

年

1月

2093

年

1月

2094

年

1月

2095

年

1月

2096

年

1月

2097

年

1月

2098

年

1月

2099

年

1月

2100

年

1月

2101

年

1月

2102

年

1月

2103

年

1月

2104

年

1月

2105

年

1月

2106

年

1月

2107

年

1月

2108

年

1月

2109

年

1月

2110

年

1月

2111

年

1月

</

# 平成30年11月歌舞伎公演

令和元年30年度(第73回文化庁芸術祭協賛)  
明治一五〇年記念  
河竹烈翁作  
河竹烈翁文庫研究会主催

## 名高大岡越前裁

通し狂言  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ  
なまくらげ

國立劇場美術係II美術  
六幕  
九幕

序幕 第一場 紀州平沢村お三住居の場  
二幕目 第二場 紀州加田の浦の場  
三幕目 第三場 美濃長洞常楽院本堂の場  
四幕目 第三場 大岡邸奥の間の場  
五幕目 第三場 同無常門の場  
六幕目 第三場 小石川戸家奥殿の場  
七幕目 第三場 南町奉行屋敷内広書院の場  
八幕目 第三場 大岡邸奥の間庭先の場  
九幕目 第三場 大岡役宅奥殿の場

主な配役

大岡 越前守忠相	中 村 梅 玉
法 沢 中 村 梅 玉	後二天一坊市
大岡 妻 小 池 下 男 大 助 坂 三 中	大岡 鮎 中 村 梅 玉
吉田 三五郎 川 男女 蔵	吉田 三五郎 川 男女 蔵
久保 天 忠 嵐	橋 三 郎
池 田 大 助 坂 三 郎	橋 三 郎
土屋 六郎 右衛門 市 川 右 近	橋 三 郎
伊賀亮女房おさみ お 江 村 齋 桂	橋 三 郎
平石治右衛門 坂 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
名主甚右衛門 市 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
久保見奎四郎 忠 嵐	東 楽 家 十 善
池田六郎右衛門 市 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
伊賀亮女房おさみ お 江 村 齋 桂	東 楽 家 十 善
平石治右衛門 坂 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
名主甚右衛門 市 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
久保見奎四郎 忠 嵐	東 楽 家 十 善
池田六郎右衛門 市 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善
伊賀亮女房おさみ お 江 村 齋 桂	東 楽 家 十 善
平石治右衛門 坂 村 歌女之丞	東 楽 家 十 善

吉宗のご落胤と称して大勢の浪人を集めたことから捕らえられ、その翌年に獄門に処せられました。史実の事件に大岡は関わっていませんが「大岡政談」の中で脚色された物語が初代神田伯山の講状によつて有名になりました。この講状を基に河竹黙阿弥は「扇音々大岡政談」を書き下ろしました。本年が明治一五〇年に当たることに因み、明治八年（一八七五）初演の本作を取り上げ、稀代の悪計を暴く大岡越前守の苦心に焦点を絞った場面構成で「名高大岡越前裁」と題し、通し狂言として上演します。

紀州平野村恵心院の小坊主・法沢は、隣村の老女お三から亡き孫が実は八代将軍徳川吉宗の落胤だという話を聞き、偶然にもその孫と自らの生年月日が同じだったことから、悪心を抱きます。法沢はお三を殺して証拠の墨付と短刀を奪い、師匠の感応院も毒殺してその罪を下男久助に擦り付け、姿をくらまします。

將軍のご落胤になりすまして美濃国常楽院に現れた法沢は、元閑白家の家来・山内伊賀亮に出会い、朝廷や武家の礼式に詳しい伊賀亮を味方に引き入れることに成功します。法沢は一味に加わった住職・天忠の機転で過去を塗り替え、天一坊と名を改めます。

江戸で老中の調べを受けて誠のご落胤と決まつた天一坊に対し、大岡越前守だけは納得せず、再吟味を願い出ますが、却つて謹慎を申し渡されます。大岡は池田大助ら家来の力を借りて秘かに屋敷を抜け出し、水戸藩主・徳川綱條に助力を求めます。

大岡はようやく再吟味に満足したが、伊賀亮が巧みな弁舌で大岡の鋭い追及をかわします。大岡は、将軍と天一坊の親子対面の実現を約束し、十日の猶予を得ます。

猶予期間中に家来を紀州へ調査に向かわせた大岡。しかし、一向に報告が入らず、猶子の刻限を目前に控えた大岡は妻小沢や嫡子忠石衛門とともに覚悟を決め、切腹しようとしています。最早最期かというところへ、家来が約束し、十日の猶子を得ます。

難事件に敢然と立ち向かう大岡越前守忠相を梅玉が初役で勤めるほか、樂善の徳川綱條、魁春の大岡妻小沢、彌十郎の山内伊賀亮、右團次の法沢が入らず、猶子の刻限を目前に控えた大岡は妻小沢や嫡子忠石衛門とともに覚悟を決め、切腹しようとしています。最早最期かというところへ、家来が約束し、十日の猶子を得ます。

後二天一坊など、充実した配役をご覧いただけます。天下の大岡裁さにご期待ください。

11月3日[土・祝]~26日[月] 午前11時開演  
(午後3時10分終演予定)

### ■ご観劇料(税込)

特別席 12,500円 1等A席 9,800円 1等B席 6,400円 2等A席 4,900円 2等B席 2,700円 3等席 1,800円  
学生 8,800円 学生 6,900円 学生 4,500円 学生 3,400円 学生 1,900円 学生 1,300円

\*3等席に限り、予約開始初日は、お一人様1ステージ2枚までご購入に限りさせていただきます。

※観劇者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

※出演者などの変更の場合はご了承ください。

■予約開始 10月6日[土] 午前10時~

[電話] 国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時) 0570(07)9900 03(3230)3000(一部IP電話等)

### 【インターネット】

パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>  
スマート <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>



●プレイガイド  
チケット販売 0570(02)9999  
<http://pia.jp/>  
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

■窓口販売開始 10月7日[日] (チケット発売 午前10時~午後6時) \*窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。



●日比谷 半蔵門(半蔵門駅)番出口(エスカレーター・エレベーターあり)1番出口徒歩5分

●都バス 03(新宿駅西口→河田町→四谷駅前)三宅坂徒歩1分(本数僅少)

●都バス 03(新宿駅西口→河田町→四谷駅前)三宅坂徒歩1分(本数僅少)

●都営バス 都営バス運行(東京・新宿・渋谷・渋谷方面行き)有料

●駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

### 国立劇場託児室

月・水・土・日・祝日開設

ご利用には、事前にご予約が必要です。(定員により次第、締め切らせていただきます)

料金 0~1歳1人1000円/2~12歳1人1000円

ご連絡・お問い合わせ <http://www.mothers-inc.co.jp/>

電話 03-102-788-222 (平日午前10時~12時、午後1時~5時)

秋の入会キャンペーン中! ▶▶ 9月1日~11月30日まで

チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!

詳しくはあぜくら会事務局 03-3264-0555 (平日午前10時~午後5時)またはHPまで

東京・半蔵門

国立劇場

大劇場

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1  
☎03-3265-7411(代表)  
<https://www.ntj.jac.go.jp/>



研修生募集中

歌舞伎俳優・歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄) お問い合わせ 国立劇場養成課 TEL 03(3265)7105